

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ
HONBETSU

2020
May
No.1099

5月

表紙 仙美里へき地保育所閉所式



Pick up

- ✿ 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ
- ✿ 仙美里へき地保育所「ありがとう。さようなら」
- ✿ 令和2年度 各学校入学式
- ✿ 防災無線戸別受信機の設置申請はお済みですか？

新型コロナウイルス 感染症に関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症の都市部での感染拡大を受け、国では4月7日に改訂新型コロナウイルス感染症対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」(5月6日まで)の期間を東京都など7都府県に発令。その後も感染者の数が全国的に増加したことから、4月16日に同宣言を全都道府県へ拡大し、北海道は「特別警戒都道府県」となりました。

町ではこの間、十勝管内で最初の感染者が確認された2月27日に「本別町新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を立ち上げ、感染予防のための町施設の対応や行事の中止等に係る協議を行い、感染防止対策を進めてきています。町民の皆さんにおいても、引き続き一人ひとりが手洗い・せきエチケットの徹底など感染予防に取り組み、「3つの密」(密閉・密集・密接)を避ける行動をお願いするとともに、感染拡大が確認されている地域への往来を含め、不要不急の外出の自粛についてご協力頂きますようお願いいたします。

3つの密を避けましょう！



③ 間近で会話や発声する
密接場面



② 多数が集まる
密集場所



① 換気の悪い
密閉空間



★3つの条件がそろった場所が
クラスター(集団)発生の
危険度が高い！
※このほか、共同で使う物品には消毒など
を行ってください

町内施設の対応状況

「緊急事態宣言」の全都道府県への拡大(5月6日まで)により、学校や各施設について下記の対応を取っています。皆さんには、ご不便をお掛けしますがご理解ご協力をお願いします。

(4月23日現在の予定)

施設名	対応状況	
各小中学校	5月6日(水)まで臨時休業	
保育園 関係施設	勇足へき地保育所	開所 ※5月1日(金)まで家庭での保育が可能な場合は、家庭での保育をお願いします
	認定こども園ほんべつ	開園 ※5月2日(土)まで希望保育となります
	児童発達支援センター	開所 ※5月1日(金)まで時間を調整して行います
	本別学童保育所・勇足学童保育所 仙美里学童保育所	開所 ※本別は5月2日(土)まで、勇足・仙美里は5月1日(金)まで家庭での保育が可能な場合は、家庭での保育をお願いします
	児童館の自由開放 (東児童館・栄町児童館)	5月6日(水)まで休館 ※状況により変更することがあります
子育て支援センター	一時保育：開所 ※5月1日(金)まで希望者のみ受け付けします ひろば：休み	
社会 体育施設	町体育館・体力増進センター ふれあい多目的アリーナ(銀河アリーナ) 柔剣道場・学校体育館開放	5月6日(水)まで休館
	野外体育施設 ※静山テニスコートおよび義経の里パークゴルフ場を除く	5月7日(木)からオープン
中央公民館・勇足地区公民館 仙美里地区公民館・美里別地区公民館	5月6日(水)まで休館	
図書館・歴史民俗資料館	5月6日(水)まで休館	
商工活性化センター(アースホール)	5月6日(水)まで休館	
しごと体験交流館	5月31日(日)まで休館	

★本別公園の開園日程

- ① 義経の館総合案内所(受付) 4月1日(水)～12月29日(火)
- ② 静山キャンプ場(バンガロー含む) 6月1日(月)～9月30日(水)
- ③ 静山テニスコート 6月1日(月)～11月3日(火)
- ④ 義経の里パークゴルフ場 6月1日(月)～10月4日(日)
- ⑤ 義経の里御所(コテージ) 6月1日(月)～12月26日(土)
- ⑥ 義経の里休憩所(ビーフハウス) 6月1日(月)～11月30日(月)
- ⑦ 義経の館物産センター 6月6日(土)～12月25日(金)
- ⑧ 義経の館飲食営業(土・日・祝日のみ営業) 6月6日(土)～9月27日(日)
※7月23日(木)～8月16日(日)は毎日営業
※軽食は10月30日(金)まで毎日営業
- ⑨ かぶと池ポート 土・日・祝日のみ営業 6月6日(土)～10月18日(日)
※7月18日(土)～8月23日(日)は毎日営業
- ⑩ 交通公園(ゴーカート) 6月6日(土)～10月18日(日)
※7月17日(金)～8月31日(月)は毎日営業
- ⑪ 遊具(アスレチック広場・コンビネーション遊具) 6月6日(土)～

・今後の新型コロナウイルス感染症の状況により、各日程について変更になることもあります
・各施設の詳細情報は、町ホームページをご覧ください

新型コロナウイルス 感染拡大防止運動

北海道のソーシャルディスタンスの取り組みについて

主旨 新型コロナウイルスの感染を防ぎ、大切な命を守るために、できるだけ物理的な距離(互いに手を伸ばしても届かない距離)を保つ道民運動を展開

対象 ①個人
②公共施設(道、国、市町村、民間施設(企業、団体))

内容 (個人)
・日常生活において、人と人との距離を保つ行動実践
(公共施設、民間施設)
・共通スローガン、ロゴの施設内掲示
・床面へのフットプリントの貼り付けやスペースをとった座席のレイアウトなど、お客さま間の一定距離の形成
・独自の取り組み内容を掲載したチラシやポスターの掲示



問い合わせ

本別町新型コロナウイルス感染症対策本部

事務局：本別町健康管理センター ☎ 22-2219

令和2年度 町内小・中学校



令和2年度の町内小・中学校および本別高等学校の入学式が4月8日、各学校で開かれました。

本別高等学校入学式

新しい生活
夢や目標に
向かって

今年の町内の入学者数は、小学校36人、中学校52人、本別高等学校28人。農業高等学校は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため入学式が中止となりましたが、62人が入学しました。本別中央小学校（式見祝賀校長）の入学式では、保護者が見守る中、28人の新一年生が担任の小笠原瞳子教諭の後に続いて体育館に入場し、一人ひとりの名前を紹介されると、大きな声で「はい！」と元気に返事をしました。式見校長は、「入学おめでとうございます。今日から小学生です。28人の友達と学校生活を楽しみ、ぐんぐん成長することを期待しています」と新入生に語り掛けるようにお祝いの言葉を述べました。

本別高等学校（近藤浩文校長）の入学式では、新入生を代表して篠原明日香さんが、「本別高校生徒としての誇りを持ち、仲間や先



生との時間を大切に、常に思いやりの心を忘れず、目標に向かって日々努力することを誓います」と宣誓し、生徒らはそれぞれの期待と希望を胸に新たな学校生活の一步を踏み出しました。

（写真上）
保護者に見守られながら入学する中央小学校の新入生（写真下）
宣誓する本別高等学校新入生代表の篠原さん

あいがとう
さようなら

仙美里へき地保育所

令和元年度仙美里へき地保育所（岡崎修子所長）の修了式および閉所式が3月25日、同保育所で開催されました。同保育所は、昭和47年に季節保育所として開設されたのが始まりで、これまで47年間多くの子供たちの成長を見守り続けてきました。



ふるさとを合唱する幼児たち

幼児たちが職員や保護者らに見守られながら始まった修了式および閉所式。修了式では、岡崎所長が修了児3人に修了証とアルバムを手渡し、「楽しいこと困ったことがあっても皆で協力して乗り越えてほしい」と話しました。また、4月から認定こども園ほんべつへ通う幼児2人の保護者には、「たくさんの幼児たちとの新しい生活は今後のプラスになるはず」とエールを送りました。

続いて、閉所式が行われ、高橋正夫町長が「子供たちの心の中には、この仙美里保育所で過ごした数年間は忘れない存在となると思います。これまで支えていただいた保護者や地域の皆さんに心から感謝します」と式辞を述べました。式の最後には、5人の全児がこの日のために練習した「ふるさと」（作詞・嵐、作曲・小山薫堂）を元氣よく歌いを締めくくり、同保育所職員や保護者からは涙があふれていました。

式後は、参列した保護者らとともに記念撮影や一緒に過ごした職員らと記念品を交換するなど、昭和の時代から続いた通いなれた保育所とお別れしました。



記念品を渡す子供たち



記念品のお礼に職員らが楽器演奏



閉所する仙美里へき地保育所

HELLO プログラミング教育

プログラミング教育の必修化

令和2年度より順次施行される新学習指導要領では、小学校～高校の各学校で「プログラミング教育」が必修化されました。小中学校では「全面实施」となりますので、施行時の学年を問わず、令和2年度から小学生が、令和3年度からは中学生が新たな学習指導要領に基づいた教科書で学習をします。

高校は「年次進行で実施」となり、令和4年度の高校1年生から新たな教科書で学習します。

■ 新学習指導要領とは

学習指導要領は、全国どこで教育を受けても授業にバラつきが出ないよう文部科学省が示しているカリキュラム編成基準のことで、約10年に一度改定されます。年間の標準授業時数が定められているほか、各教科の目標や教育内容が定められています。新しい学習指導要領では、その中にプログラミング教育を盛り込んだ教科ごとの内容が記載されており、児童がプログラミングを体験しながら学習活動を行います。

なぜ「プログラミング教育」が必修化なのか？

現代では、7割強の日本人がスマートフォンを持ち、「パソコンなしでは業務ができない」という傾向は、今後ますます加速していくと考えられます。これからの社会を生きる子供たちがグローバル化やIT化する時代を生き抜くために、コンピュータなどの「情報技術を上手く活用する力」や「課題解決のために自ら考える力を身につける」など、プログラミング的思考を身につける必要があります。ただしこのことは、将来の仕事のためにコンピュータのプログラミングを学ばなければならないという意味ではありません。

「プログラミング的思考」とは

プログラミング的思考とは？ わかりやすく例えると、毎晩お母さんがされている「夕飯の準備」。冷蔵庫を開けて、食材を見て献立を考えます。「あれがないから、これで代用しよう」「人参、じゃがいも、玉ねぎがあるけど、カレーじゃなく肉じゃがにしよう」と無意識かもしれませんが、頭の中で思考を巡らせています。こういった思考もプログラミング的思考と言えます。

自分が意図する目標達成や課題解決のために、どのような組み合わせが必要で、一つ一つの動きに対応した記号をどのように組み合わせたらいいのか、その組み合わせをどのように改善していけばより意図した活動に近づくのかということを論理的に考えていく力を育むことを目的としています。

人体型ロボットの導入

教育委員会では、各学校でプログラミング的思考を授業の中で育んでいくため、令和2年度予算で、コミュニケーションツールとしての機能を持った「人体型ロボット」を導入します。授業の中では、児童がプログラムしたデータを人体型ロボットに指示する内容を送信することで、言葉や動きに変わり、児童たちが興味や関心をもって取り組めるようにと考えています。



デジタル防災無線戸別受信機の設置申請はお済みですか？

～アナログでの放送は令和2年度末で終了します～



町では、防災行政無線のデジタル化更新に伴い、デジタル式戸別受信機設置のための貸与申請書を受け付けています。現在のアナログ電波での放送を令和2年度末で終了することや、災害時の避難情報などを確実に伝達するため、多くのご家庭で戸別受信機の設置をお願いします。戸別受信機の設置には、**新規および現在アナログ式の戸別受信機を設置している人も申請が必要です。**設置を希望する人で申請書を提出していない人は、役場住民課で手続きをお願いします。

戸別受信機の貸与について

● 設置対象者

- ①町内に居住する世帯で、申請書を提出された全世帯
 - ②町内にある申請書を提出された事業所
- ※文字表示型戸別受信機については、聴覚に障がいを持つ身体障害者手帳の交付を受けている人が対象となります



● 設置基準

- ①一般世帯、住民票1世帯 → 戸別受信機1台
- ②同一敷地、住民票1世帯（実際には別居） → それぞれ戸別受信機1台
- ③同一住居、住民票2世帯（二世帯住宅） → 戸別受信機1台
- ④公営住宅、民間集合住宅 → 各世帯からの貸与申請により戸別受信機各1台
- ⑤事業所 → 事業所からの貸与申請により戸別受信機1台
- ⑥住宅兼用の事業所 → 世帯同様居住スペースに戸別受信機1台

● 申請方法

「戸別受信機貸与申請書」に必要事項を記入の上、住民課窓口に提出してください。
※申請書は、町ホームページからダウンロードできるほか、住民課窓口にも用意しています

● 設置工事について

- ・設置工事は、12月頃から予定しています。指定業者があらかじめ連絡を入れた上でお宅へ訪問します
 - ・指定業者は、作業員証（名札）を必ず所持しています
- ※設置に関わる費用や戸別受信機の使用料を請求することはありません。万が一費用を請求された場合は、ご連絡ください

問い合わせ 本別町教育委員会 管理課 学校教育担当 ☎22-2331

申請および問い合わせ 住民課 環境生活担当 ☎22-8128

交通安全を願って

4 10・15

新学期を迎え、新入学児童も元気に登校しています。子供たちが悲惨な交通事故に遭わないよう、「春の全国交通安全運動」に併せて、中央小学校（式見祝賀校長）では、全校児童183人を対象とした交通安全教室を1年生が4月10日、2年生が4月15日、同校で実施しました。教室の始めには、式見校長が「命を自分で守るため、学校に来るときのルールを学んでほしい」とあいさつ。両日とも交通安全指導員2人と教諭の指導のもと、実際に道路を通行し、横断歩道の渡り方や自転車の乗り方など、事故に遭わないための交通ルールを学びました。



100歳おめでとうございます 町敬老祝い金の贈呈

高山ヒサ子さんが3月24日に100歳を迎えられ、グループホームあさひの里で敬老祝い金が贈呈されました。



ヒサ子さんは足寄町上利別でお生まれになり、昭和16年に旧国鉄で勤務していた夫の故清次郎さんと結婚され、二男二女に恵まれました。当時、飼育していた綿羊の羊毛で子供たちにセーター等を作り、親子6人笑顔の絶えない日々を過ごされたそうです。平成24年から同グループホームに入所しており、ご家族は「優しく強いおばあちゃん。真面目にいつも一生懸命だった」と、ヒサ子さんに対して感謝の言葉を語りました。

おいしいキノコができますように

4 8

本別町林業グループ（布施秀夫会長）では、開催を予定していた今年のキノコ栽培研修会を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し4月8日、申し込みのあった33世帯にほだ木を配布しました。これは、研修会を楽しみにしていた申込者にほだ木を届けたいという同会の思いにより、実施されました。配布したほだ木は来秋の収穫に向け、各家庭で管理していきます。



新規就農者らを激励

3 24

町営農指導対策協議会（高橋正夫会長）主催の「新規就農者・新規就農予定者激励会」が3月24日、JA本別町で開催されました。当日は、町内農家での研修を終えて新規就農する荒井陽介さん、町内農家で研修を受けて2年後の新規就農を目指す田所洋平さんと妻の優花さん、大澤然さんが出席しました。高橋会長は「自然を大切に、色んな技術を身につけ、農業の未来のために活躍することを期待しています」と激励しました。激励を受けた参加者は、それぞれ抱負や意気込みを述べ、新たな目標に向かってスタートしました。



地域おこし協力隊に 着任しました！

新たに1月14日から小宮航一さん、4月1日から吉田哲登さんが本別町の地域おこし協力隊に着任しました。小宮さんは有害鳥獣駆除、吉田さんは健康スポーツ推進の任務に就いています。本別町で活動する協力隊員は4人となり、その活躍については今後も掲載する予定です。



小宮航一（農林課）
有害鳥獣駆除推進員
大学卒業後、陸上自衛隊に在籍していましたが、一昨年に北海道へ移住しました。わな猟と第一種銃猟免許を取得しており、本別町では有害鳥獣駆除の任務に携わりながら狩猟の技術を磨き、将来的には資源の有効活用も、鳥獣被害に困った際はご相談ください。
東京都出身、29歳



吉田哲登（教育委員会）
健康スポーツ推進員
現在、「北海道十勝スカイアース」というサッカーチームに所属し、プロサッカー選手を目指しています。本別町では、多くの人との交流を通して、スポーツの楽しさを広めていきたいと考えています。道内・管内での試合もありますので、機会があればぜひ観戦に来てください。
帯広市出身、20歳

国民年金

国民年金保険料の納付方法

その217

令和2年度の国民年金保険料は、月額「16540円」です。納付方法は、被保険者ごとに異なります。



◇第1号被保険者

20歳以上60歳未満で、農業・自営業などを営む人とその家族、学生、無職の人です。毎年4月、もしくは加入手続きをした後に日本年金機構から納付書が送付されますので、次の方法で納めてください。

納付書

金融機関・郵便局・コンビニエンスストアの窓口または電子納付（ペイジー、インターネットバンキング）等で納付できます。お手元に納付書がない場合は、年金事務所にご連絡ください。
☆Pay-easy（ペイジー）が便利です！
納付書に記載されている「収納機関番号」、「納付番号」、「確認番号」をP

ay-easy対応のATMまたはインターネットバンキングの画面に入力するだけで、納付することができます。
□座振替
ご自身や家族の口座から引き落としができます。納め忘れを防ぐことができます。便利です。お申し込み先は、年金事務所または金融機関です。

クレジットカード納付

クレジットカードにより定期的に納付できます。年金事務所へ事前に申し込みが必要です。

◇第2号被保険者

厚生年金や共済組合などに加入している人です。毎月の給与から厚生年金保険料として天引きされますので、個別に納める必要はありません。

◇第3号被保険者

第2号被保険者に扶養されている配偶者で、20歳以上60歳未満の人です。保険料は配偶者が加入している年金制度が負担しますので、自分で納める必要はありません。

帯広年金事務所

011551-2518-113

住民課戸籍年金担当へ

020-8128

日本年金機構のホームページは
<https://www.nenkin.go.jp/>

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのたぐさんの愛に包まれてすくすく元気に育ってね！



※写真は本人に了解を得た上で掲載しております



南2丁目
朝日 鈴太 (愛くま)



向陽町
三浦 蒼準 (純平ハハ・おのりくま)

母子保健計画を策定しました

令和2～6年度の5年間の母子保健活動の方向性を定めた「第3次母子保健計画」を4月からスタートさせました。この計画は、平成30年4月に設置された子育て世代包括支援センター（町健康管理センター内）の機能を踏まえるとともに、母子保健に携わる町内の各学校養護教諭や育児中の母親などで構成する策定委員会により検討を重ね、今年1月に町民の皆さんから広く意見を募集し、策定したものです。

同計画には、「みんなのやさしさに包まれてすべての親子がいきいき笑顔で過ごせるまち」のスローガンのもと、子供たちの健やかな成長を支援するための乳児・幼児健診、育児中の保護者のための育児相談、学校と連携した思春期の生教育等の取り組み、子育て世代包括支援センターの機能を生かした、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の提供について示しています。

計画の主な内容は、町ホームページや健康管理センター等でご覧いただけます。

問い合わせ 本別町健康管理センター ☎ 22-2219



ご寄付ありがとうございます 令和2年3月16日から4月15日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上にて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★本別町中央公民館指定

絵画ほか 計6点 ……南2丁目 熊谷 恭子

★新型コロナウイルス感染症対策本部指定

マスク 580枚 ……匿名
マスク、抗菌スプレーほか 計4点 ……東京都 エイザイ株式会社

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付

計金 6,372,000円 ……424人

みんなの健康

429

皆さんは「介護予防」と聞いてどんなことを想像しますか？「介護なんて私にはまだ早い」「歩けなくなつてから始めるもの」等と思つていませんか？意外と「要介護状態」と「介護予防」を同じものと考えている人が多く、気付いた時には心身機能が低下しており、家族や人の助けなしには生活できない状態になつていたというケースもあります。

介護予防について



地域包括支援センター 保健師 西山 はるか

介護予防とは、健康なときから身体や認知機能を維持していくために、早いうちから意識的に予防活動を行い、いつまでも健康で、自分らしく望んだ生活ができるようにするための取り組みです。「できるだけ長く自宅で過ごしたい」「自分で身の回りのことをして、家族の世話にならずに生活したい」等と考えている人にこそ必要な取り組みです。

国では、2000年度の介護保険制度の創設とともに介護予防に関する施策を進めており、社会全体としてその意識は年々強くなつていきます。

本別町では、参加した人たちがそれぞれ身体と健康に向き合いながら、自分で自分の身体をケア（セルフケア）して元気に過ごすことを目標とし、「元気にいきいき教室（通所型介護予防教室）」と題して介護予防教室を行っています。介護を必要とせずいつまでも元気でいきいきと暮らすために、運動機能の維持・向上、認知機能低下予防のための活動、身体づくりをするため、まずは口からしっかりと食べられる（栄養を摂れる）機能を維持することが重要と考え、歯科医師や歯科衛生士の協力のもと、お口の健康を守るための内容等を取り入れて実施しています。

元気にいきいき教室に参加するには地域包括支援センターの職員がご自宅に訪問し、心身状態や生活状況等について基本のチェックリストを基に確認し、参加の可否等を判断させていただきます。興味のある人はいつでもお気軽にご相談ください。

銀河ホップアップインジ

足寄町

里見が丘公園利用開始

里見が丘公園のお山の複合遊具、ふわふわドームの利用を開始します。同日から足湯も開放しますので、ぜひご家族でお越しください。

□お山の複合遊具
営業期間 5月7日(木)～10月末(土)まで
□ふわふわドーム
営業期間 5月7日(木)～10月末(土)まで
営業時間 午前9時～午後6時まで

陸別町

日本産肉、北海道産の特産品「山と森のなかま」カタログ

特性のタレで漬け込んだ「りくへつ鹿ジンギスカン」
陸別町で獲れたエソ鹿肉を使用。十勝ワインや陸別産の無農薬ブルーベリーを使った特製のタレに漬け込み熟成させました。

※味はマイルド
味・ピリ辛味
の2種類
□価格
300g：750円
500g：950円
□問い合わせ
陸別町観光物産館（道の駅オーロラタウン93りくへつ内）
☎ 2712012



本のある暮らし

230

戸籍のまど

おくやみ

3月後半から
4月前半の
届出分

- 福田 美子さん 80歳 3/15 北7丁目
- 久保 和子さん 86歳 3/17 新 町
- 杉本 幸雄さん 81歳 3/18 北4丁目
- 安藤 國雄さん 74歳 3/20 向陽町
- 佐藤 花子さん 86歳 3/20 南4丁目
- 田口 稔さん 84歳 3/20 南1丁目
- 加藤 進さん 85歳 4/3 東仙美里
- 四関 重仁さん 88歳 4/6 東 町

外で元気に!

～思いっきり走ってみよう～

風が心地よい季節となったのに、新型コロナウイルスのため思うように出掛けられない日々…じっとしていただけない子供たちは特に大変ですね。そこで提案!密閉・密集・密接を避け、走ってみるのはいかがでしょうか?ストレス発散と体力アップ、一石二鳥かも。



**かけっこが速くなる
1週間おうちレッスン**
主婦の友ブックス



かけっこに自信がつくとスポーツが好きになる!

理想のフォームやトレーニング法を豊富な写真で分かりやすく解説。幼児期から外遊びで楽しく運動量を増やしましょう。大人もやってみてください。助け合いです。



**子どもの健全な成長のための
スポーツのすすめ**
著・田崎 篤



専門医が語るスポーツと子育て。

子どもの運動習慣がいかに重要か、具体的に親へアドバイスします。まずは外遊び。走り回ることから始めましょう。

図書館では、赤ちゃんからシニアまでの健康づくりの本、DVDなどを用意しています。気軽にお試しください。

わたしたちのまち

前月比
人口 **6,710人(-12%)**
男 **3,268人(-7%)**
女 **3,442人(-5%)**
世帯数 **3,526戸(-5%)**
〔3月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先
本別町図書館
(愛称:ぶつくる一丸)
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112